

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21700	地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	国土調査事業(地籍調査事業)第6次十箇年計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款			2	総務費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		内線	項	1	総務管理費	分野	1	土地利用	H28実施計画額	145,600 千円		
	2235			目	18	地籍調査費		施策概要	1		総合的な土地利用		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 地籍調査実施地域の森林所有者	どうしたいのか(意図)	一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。	概要	事業の実施手法(手段)	調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行うことで、森林整備を円滑に行うと共に境界紛争を防止する。
対象者数	2,726 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・地籍調査事業量(換算面積) 2.79km <sup>2</sup> (丹生川地域 0.14km <sup>2</sup> 、清見地域 0.83km <sup>2</sup> 、久々野地域 0.31km <sup>2</sup> 、朝日地域 0.46km <sup>2</sup> 、国府地域 0.22km <sup>2</sup> 、上宝地域 0.83km <sup>2</sup> )						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	地籍調査事業 実施面積	km <sup>2</sup>	目標値	6	6	6	6
成果指標	算出根拠等	実績	実績(見込)	2	3	5	
	達成率(%)		達成率(%)	28	44	83	
成果指標	国土調査事業 第6次十箇年計画進捗率	km <sup>2</sup>	目標値	64	64	64	64
	算出根拠等	第6次十箇年計画面積	実績(見込)	8	11	16	
成果指標	達成率(%)		達成率(%)	13	18	25	
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)		達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)		実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	高山市総合計画や市長公約において、地籍調査を積極的に推進している。しかし、国、県の予算配分が十分にされず、地域要望に応えられていないことが課題である。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	積極的な予算配分を国・県へ要望し、地籍調査の計画的推進を図る。													
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">○ 拡大</td> <td rowspan="3">第6次十箇年計画に基づき、地籍調査事業を拡大し、進捗率を高める。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td rowspan="3">○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">県に対して財源確保を引き続き求める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善	○ 拡大	第6次十箇年計画に基づき、地籍調査事業を拡大し、進捗率を高める。	拡大	縮小	廃止検討	○ 維持・改善	県に対して財源確保を引き続き求める必要がある。	維持・改善	縮小	廃止検討		
維持・改善	○ 拡大	第6次十箇年計画に基づき、地籍調査事業を拡大し、進捗率を高める。												
拡大														
縮小														
廃止検討	○ 維持・改善	県に対して財源確保を引き続き求める必要がある。												
維持・改善														
縮小														
廃止検討														

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 58,869	87,051	152,038	155,183
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 21,595	31,934	55,773	56,927
	受益者	地籍調査実施地域の森林所有者	(B) 2,726	2,726	2,726

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	国土調査法に基づく国土調査	要求のポイント	事業実施の課題
			地籍調査の実施には多大な事業費を要するため、国や県と連携し事業費を確保する必要がある

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	152,038	155,183	3,145	131,176	131,176	積算内容を精査	財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	116,450	115,660	△790	97,500	97,500		
その他			0				
一般財源	35,588	39,523	3,935	33,676	33,676		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	21830	匠の家づくり支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を目指します。 ○高山市で生産される農林・畜産品、さらには、それらを使用した飛騨高山の和食文化の市場をトップセールスで開拓します。	
	款			2	総務費	基本分野		1	産業・労働				
担当課	農政部 林務課	内線 2234		項	1	総務管理費	分野	6	林業	実施計画事業	匠の家づくり支援事業	H28実施計画額	36,500 千円
				目	19	環境政策費		施策概要	2	森林資源の有効活用			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民、市内工務店、市内木材生産者	どうしたいのか(意図)	市産材を使用した木材建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。 ・地産外消タイプ(地域材使用量に対し家具等木製品を贈呈する制度)を追加。 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助。 ・県産直住宅組合への負担金
対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	匠の家づくり支援事業(地産地消)79件 (地産外消) 29件 計108件 産直住宅建設促進費 2件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	建築棟数	棟	目標値	117	117	120	200
				実績(見込)	117	108	120	
	算出根拠等			達成率(%)	100	92	100	
				目標値	100	100	100	100
	成果指標	市産材利用率(県産材に対する市産材の割合)	%	実績(見込)	92	98	98	
				達成率(%)	92	98	98	
	活動指標	産直住宅建設数	棟	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	2	2	2	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・申請件数が増加しており、事務の効率化に引き続き取り組む必要がある。 ・市産材利用を促進するために、関係各所への当制度の効果的PRを推進する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・更なる需要拡大を図るために、市産材の品質や制度の効果的なPRについて検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・事業者ヒアリングの中で、制度の改善を求める声があり、一層市産材の利用促進する観点から、他自治体との連携や制度の改善を検討する。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・助成制度により、市産材の利用拡大がどれくらい図られているかを検証するとともに、更なる需要拡大を図るために、他自治体との連携や、効果的なPRを図る必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 35,114	33,511	36,590	51,390
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 381	366	402	565
	受益者	市民、市内工務店、市内木材生産者 (B)	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ1㎡あたり20,000円を助成 ・地産外消タイプ(市産材の使用量に応じて家具等木製品の贈呈)に対する助成	要求のポイント	・市内のみならず市外(国外含む)へも高山市産材の品質の高さを広めるための効果的なPR ・中津川市との連携による地域材の利用促進	事業実施の課題	効果的なPRの展開を図る必要がある
------	---	---------	--	---------	-------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	36,590	51,390	14,800	30,590	30,590	・積算内容を精査 ・中津川市との連携事業は、H27年度3月補正予算に計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	320	320	0	320	320		
一般財源	36,270	51,070	14,800	30,270	30,270		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53100	林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部 林務課			内線	2235	款		5	農林水産業費	分野			
				項	3	林業費		基本施策	6	林業	H28実施計画額	36,000	千円
				目	1	林業総務費		施策	2	森林資源の有効活用			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 森林所有者(市内全域)	どうしたいのか(意図)	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
	対象者数	4,482 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・林道修繕 53件 23,744千円 ・林道管理委託 8件 2,542千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	林道維持管理	箇所	目標値	60	60	60	60
成果指標	算出根拠等	実績箇所	実績(見込)	77	53	55	
			達成率(%)	128	88	92	
成果面	間伐材利用に係る集運材量	m	目標値	15,800	14,833	15,500	16,600
	算出根拠等	搬出量	実績(見込)	20,786	20,459	15,000	
補足			達成率(%)	132	138	97	
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・林道の適正な管理のため、修繕を継続して行う。
-----------------	-------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・林道調査や町内要望等により必要な修繕を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 78,827	29,236	36,018	35,478
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 17,587	6,523	8,036	7,916
	受益者 森林所有者(市内全域)	(B) 4,482	4,482	4,482	4,482

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・林道施設の維持管理	要求のポイント	・林道275路線の維持管理	事業実施の課題	・広大な市域に多くの林道があり、安全な通行を確保するためには、多くの修繕経費が掛かるうえ、林道調査などできめ細かな状況把握しておく必要がある
------	------------	---------	---------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	36,018	35,478	△ 540	35,674	35,674	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	279	279	0	206	206		
一般財源	35,739	35,199	△ 540	35,468	35,468		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53200	市有林整備事業費	内線	2235	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款					5	農林水産業費	分野		1	産業・労働	実施計画事業				
担当課	農政部 林務課					項	3	林業費		基本施策	6	林業	H28実施計画額	30,000 千円		
	目	2	林業振興費	施策		1	森林の適切な管理									

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
	対象者数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・市有林管理事業 39,096千円 ・利用間伐・作業道開設等 22件							
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		市有林間伐等施業実施面積	ha	目標値	26	72	58	50	
	算出根拠等	事業実施面積	達成率(%)	135	62	100			
	成果指標	市有林施業管理面積		ha	目標値	2,353	2,353	2,353	2,353
		算出根拠等	人工林面積	達成率(%)	56	57	59		
	活動指標	市有林利用間伐面積		ha	目標値	10	50	32	12
		算出根拠等	事業実施面積	達成率(%)	80	66	81		
	成果指標	市有林作業道開設延長		m	目標値	1,000	1,600	1,200	950
		算出根拠等	事業実施延長	達成率(%)	100	57	83		
	補足				目標値				
		算出根拠等		達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、市有林周辺の森林所有者等と連携し、市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 ・市有林の事業を通して、伐採等の施業技術者は育ちつつあるが、必要な施業のプランニング、進捗管理等のできる人材は不足している。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・市有林及び周辺森林を一体とし、プロポーザル方式による管理手法を検討する。 ・市有林を事業体等に経営委託する方式等の導入をする。 ・森林の適正な管理に必要な人材を市有林の事業を通して、引き続き育成する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業体等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業体により確保(国補助金や支障木の売払い)することし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・市有林管理・利用業務の長期委託に際しては、より効果的で計画性のある森林づくりとなるよう検討していく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	37,647	39,611	29,000	20,119
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	408	432	319	221
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	市有林の管理	要求のポイント	・市有林の適正な管理・利用を進める上で必要な経費を計上	事業実施の課題	・効率的な長期経営委託手法を検討し、計画性のある森づくりを推進する必要がある
------	--------	---------	-----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		29,000	20,119	△ 8,881	27,150	27,150	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	11,200	8,586	△ 2,614	11,700	11,700		
	その他	8,450	4,108	△ 4,342	8,500	8,500		
	一般財源	9,350	7,425	△ 1,925	6,950	6,950		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53210 緑の保全事業費	会計	1 一般会計	政策	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
		款	5 農林水産業費	分野	1 産業・労働	実施計画事業	緑の保全事業		
担当課	農政部 林務課	項	3 林業費	基本施策	6 林業	H28実施計画額	55,000 千円		
	内線 2234	目	2 林業振興費	施策	1 森林の適切な管理				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 森林所有者・森林組合・林業事業者 等	どうしたいのか(意図)	必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・間伐などの国・県で行っている造林補助事業に市で嵩上げ補助を実施する。 ・国、県の補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して市単独の補助を実施する。 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に補助を実施する。
	対象者数	4,482 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐事業 233.1ha ・間伐促進事業 6.53ha ・除伐事業 3.62ha</li> <li>・間伐作業道開設事業 16.753m ・軽作業道開設事業 900m</li> <li>・間伐材利用促進事業 12,972.635㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型) 7,331.905㎡</li> <li>・未利用資源活用促進事業(買取型) 154.6t ・小規模森林整備事業 4.5ha</li> </ul>						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	間伐・除伐・枝打ち	ha	目標値	497	400	400	400
				実績(見込)	178	248	400	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	36	62	100
	活動指標	作業道開設	m	目標値	12,100	22,500	22,500	22,500
				実績(見込)	13,600	17,653	22,500	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	112	78	100
	活動指標	間伐材利用促進事業、未利用資源活用促進事業(集運型)、未利用資源活用促進事業(買取型) 集運材積量	㎡(t)	目標値	15,800	14,833	15,500	16,600
				実績(見込)	20,786	20,459	15,000	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	132	138	97
	成果指標	民有林内の間伐実施面積	ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績(見込)	1,109	1,200	1,000	
算出根拠等 飛騨農林事務所 間伐実績集計				達成率(%)	55	60	50	
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	近年の国、県の補助制度の変更に伴い、これまでの切捨間伐から搬出間伐となった。伐採して搬出する業務は、高度な技術と多くの労務を要するため、今後は、森林技術者の育成・確保を図る必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	間伐促進事業、小規模森林整備事業等の普及拡大を図り、小規模事業者等の経営意欲の喚起を促す。	
次年度の実施方針	○維持・改善	緑の保全事業を継続することで、林業を支える人づくり、地域づくりを図り、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○維持・改善	
拡大	・小規模森林所有者等が、国・県の造林補助事業を実施できるよう共同での森林経営計画策定の促進について検討する必要がある。	
縮小	・倒木処理が進むように働きかける必要がある。	
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	52,512	55,688	55,000	174,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11,716	12,425	12,271	38,867
	受益者	森林所有者・森林組合・林業事業者 等	(B)	4,482	4,482	4,482

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐事業、除伐事業、間伐作業道開設事業に対する助成</li> <li>・間伐材の集運に対する助成</li> <li>・県造林補助制度に対応できない個人及び林業事業者等が行う小規模な森林整備に対する助成</li> <li>・軽作業道開設に対する助成</li> <li>・平成26年12月の豪雪による倒木の処理に対する助成</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市森林整備計画に基づく、「災害に強い森林づくり、多様な森林づくり」、「効率的な木材生産、林産物の利用拡大」のための森林整備の促進</li> <li>・豪雪による倒木の速やかな処理の推進</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模森林所有者等が、国・県の造林補助事業を実施できるよう共同での森林経営計画策定の促進が必要である</li> <li>・倒木処理が速やかに進むように働きかける必要がある</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	55,000	174,200	119,200	175,000	175,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	700	1,125	425	700	700		
県支出金	750	750	0	750	750		
その他	3,127	1,743	△1,384	37,237	37,237		
一般財源	50,423	170,582	120,159	136,313	136,313		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53220	森林被害対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	森林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである森林畜産業の振興を目指し、森林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課				款	5	農林水産業費		分野	1	産業・労働			
		内線		項	3	林業費		基本施策	6	林業	H28実施計画額	2,000 千円	
		2236		目	2	林業振興費		施策	1	森林の適切な管理			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民、森林所有者	どうしたいのか(意図)	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の予防・駆除を実施し、豊かな自然環境を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	・予防事業・・・新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、殺菌剤樹幹注入の予防措置を実施する。 ・駆除事業・・・カシノナガキクイムシの被害木を薬剤くん蒸し処理する。
対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	予防事業については荘川・国府地域で、73本殺菌剤樹幹注入を実施した。 駆除事業については荘川・国府・上宝地区で45本、シートくん蒸等処理をした。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	予防処理本数	本	目標値	160	130	70	70
	算出根拠等	実績	実績(見込)	125	73	70	
			達成率(%)	78	56	100	
活動指標	駆除処理本数	本	目標値	150	80	50	15
	算出根拠等	実績	実績(見込)	53	45	4	
			達成率(%)	35	56	8	
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	国・県の補助対象項目に、調査費用がなく、森林の状況把握に苦慮している。
-----------------	-------------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・国・県の補助対象項目に調査費用を含めるよう要望する。 ・国・県の補助制度、森林環境税を活用して予防・駆除を行う。														
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>拡大</td> <td rowspan="3">継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、先端地域の被害調査を徹底して行い、それに基づき予防・駆除事業を行っていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>拡大</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	○維持・改善	拡大	継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、先端地域の被害調査を徹底して行い、それに基づき予防・駆除事業を行っていく必要がある。		縮小		廃止検討	○維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)		縮小		廃止検討
○維持・改善	拡大	継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、先端地域の被害調査を徹底して行い、それに基づき予防・駆除事業を行っていく必要がある。													
	縮小														
	廃止検討														
○維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)													
	縮小														
	廃止検討														

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,783	1,765	2,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 30	19	22	11
	受益者	市民、森林所有者 (B)	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・新たなナラ枯れの拡大を防ぐ予防措置の実施 ・カシノナガキクイムシの被害木の薬剤処理	要求のポイント	・被害発生エリアを中心にした予防及び駆除対策	事業実施の課題	・近隣の市村において対応にばらつきがあり、広域的な取り組みが必要 ・被害地域の把握や被害場所の特定が困難
------	---	---------	------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,000	1,000	△ 1,000	1,400	1,400	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	1,750	886	△ 864	1,300	1,300		
一般財源	250	114	△ 136	100	100		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53230	林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課				内線	2236	款		5	農林水産業費	分野			
				項	3	林業費		基本施策	6	林業	H28実施計画額	2,300 千円	
				目	2	林業振興費		施策	3	担い手の育成・確保			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 林業グループ員、行事参加者	どうしたいのか(意図)	・林業グループの自主的な調査・研究活動を促進。 ・新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。 ・広葉樹施業技術者の養成。
	対象者数	150 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	各地域で活動する林業グループ7団体中5団体が、年間を通して6事業を行い、林業グループ員一般参加合わせて62名の参加となった。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動実施回数	回	目標値 実績(見込)	10 7	10 6	10 10	10 10
活動指標	算出根拠等	実績	達成率(%)	70	60	100	100
	活動参加数	人	目標値 実績(見込)	150 89	150 62	150 100	150 100
成果面	算出根拠等	実績	達成率(%)	59	41	67	67
			目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	現在、市内各地で7団体が活動しているが、全地域10団体での活動が望ましい、団体活動が出来ない地域の人は、隣接の団体に属して活動するなどして、技術の向上を図る取り組みも必要である。又、活動自体は地域色を出しながらも、どのように後継者育成につなげていくかが課題である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	毎年行われる各団体毎の技術講習やイベントなどに、地域外からの参加を呼びかけ、後継者の育成に繋げていく。	
次年度の実施方針	○維持・改善	各団体の活動を通して一般市民が林業に興味を持たれるよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導していく。又、数組の林業グループ合同のイベント・講習や、団体のない地域の人達を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導をしていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	林業グループの統合などによる合理化や組織強化について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	550	650	4,750	2,350
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	33,067	18,790	31,667	15,667
	受益者	林業グループ員、行事参加者	(B)	89	62	150

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・価値の高い木材生産を行うための広葉樹施業研修会の開催 ・林業グループの自主的な調査・研究活動を促進 ・新たな林業技術の習得や後継者の育成	要求のポイント	・林業就労者の高齢化に伴う後継者不足及び林業技術の継承・習得 ・新規就労希望者や一般市民に対する林業のPR ・広葉樹施業研修会開催	事業実施の課題	・広葉樹施業技術者など、人材育成には時間がかかるため、長期的な育成の取り組みが必要 ・各グループ間や地域間の情報交換が無いため、技術や伝統がと伝わりにくい ・各グループの活動がPR不足であり、新規就労等の担い手育成につなげにくい
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,750	2,350	△ 2,400	2,350	8,050	・要求どおり	・飛騨高山森の仕事人養成塾に要する経費を計上
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	3,250	350	△ 2,900	350	350		
その他			0	300	300		
一般財源	1,500	2,000	500	1,700	7,400		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53240	林道整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課				内線	2235	款		5	農林水産業費	分野			
				項	3	林業費		基本施策	6	林業	H28実施計画額	40,000	千円
				目	2	林業振興費		施策	2	森林資源の有効活用			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	・林道(宮・高山線)を早期に完成させる。 ・林道の改良を実施する。 ・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を支払う。	概要	事業の実施手法(手段)	・宮・高山線の県代行業業に対する負担金の支払い。 ・林道公共事業(国・県補助)を活用し、林道の改良を実施する。 ・高山市の受益者負担金を支出する。 ・受益者組合への補助金を交付する。
	対象者数	90,938 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	林道開設工事(宮・高山線) L=187m 林道改良(駄吉線) L=563.4m 高山市受益者負担金 2,124千円 受益者組合への補助金 15,145千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	林道宮・高山線開設事業	m	目標値	200	200	200	200
				実績(見込)	289	0	100	
	算出根拠等 実施延長			達成率(%)	145	0	50	
	成果指標	林道宮・高山線開設延長	m	目標値	11,150	11,150	11,150	11,150
				実績(見込)	9,782	9,782	9,782	
	算出根拠等 開設済み延長/計画全延長			達成率(%)	88	88	88	
	活動指標	林道改良事業	m	目標値	1,050	580	127	118
				実績(見込)	1,118	580	127	
	算出根拠等 実施延長			達成率(%)	106	100	100	
	成果指標	林道舗装延長	m	目標値	12,744	12,744	0	0
				実績(見込)	12,164	12,744	0	
算出根拠等 舗装済み延長/計画全延長			達成率(%)	95	100			
活動指標	緑資源幹線林道賦課金元利補給金	千円	目標値	19,450	15,145	10,569	8,634	
			実績(見込)	19,450	15,145	10,569		
算出根拠等 補給金支払額			達成率(%)	100	100	100		
成果指標	緑資源幹線林道賦課金償還額	千円	目標値	688,014	688,014	688,014	688,014	
			実績(見込)	620,696	635,842	646,411		
算出根拠等 償還額/償還元金			達成率(%)	90	92	94		
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・林業者だけでなく広く一般の方々にも大規模林道を活用していただけるよう維持管理の向上に努める必要がある。 ・県の予算に左右される部分が大きい。 ・地域の森林所有者だけでなく、広く市民が活用しやすい安全面等の利便性の向上を図る。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・林道開設事業は、引き続き県の代行業業として実施する。 ・計画的に林道改良を実施する。 ・引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・林道開設事業は、引き続き県の代行業業として実施する。 ・新たな林道路線の改良を実施する。 ・引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。  新たな実施箇所については必要性を含めて検討が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善		
拡大		
縮小		
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	54,129	39,502	46,353	44,883
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	588	431	510	494
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・林道(宮・高山線)の開設(負担金) ・林道改良工事の実施 ・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金	要求のポイント	・林道宮・高山線開設に向けた支障木伐採	事業実施の課題	国・県の予算確保を要望し、必要な林道開設・改良を計画的に進める
------	--	---------	---------------------	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	46,353	44,883	△ 1,470	44,951	44,951	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	14,500	13,003	△ 1,497	13,000	13,000		
一般財源	31,853	31,880	27	31,951	31,951		



# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53250	生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約
				款	5	農林水産業費		分野	1	産業・労働		
担当課	農政部 林務課	内線	2236	項	3	林業費		基本施策	6	林業	実施計画事業	生活環境保全林管理事業
				目	2	林業振興費		施策	3	担い手の育成・確保	H28実施計画額	10,000 千円

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林を適切に維持管理する。</li> <li>利用者数を増加させるとともに、市民による多様な活用を促進する。</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の適正な維持管理を図る。</li> <li>広報等により利用促進に向けた普及啓発を実施する。</li> </ul>
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	生活環境保全林管理事業 8,413千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
				目標値	1	1	1
活動指標	算出根拠等	実績	実績(見込)	1	1	1	1
			達成率(%)	100	100	100	100
活動指標	利用者数	人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000
			実績(見込)	151,538	125,772	160,000	
活動指標	算出根拠等	実績	達成率(%)	95	79	100	
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、適正な維持管理を実施する。</li> <li>利用者増に向けた普及啓発を強化する。</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	H27は広報及びインターネットによるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。県補助等を積極的に活用し、施設整備をすすめ施設の魅力を高める。										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">借地料の適正化について検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。	拡大	縮小	○ 維持・改善	借地料の適正化について検討する必要がある。	拡大	縮小	廃止検討	
	○ 維持・改善	広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。									
拡大											
縮小											
○ 維持・改善	借地料の適正化について検討する必要がある。										
拡大											
縮小											
廃止検討											

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	8,413	8,468	9,874	18,568
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	91	92	109	204
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	生活環境保全林施設の適正な維持管理及び利用促進	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の適正な維持管理</li> <li>広報等による利用促進に向けた普及啓発</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化する施設の計画的な修繕を進める必要がある</li> <li>市民等に対し効率的な広報を実施する必要がある</li> </ul>
------	-------------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,874	18,568	8,694	9,874	9,874	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	5,000	5,000	0	5,000	5,000		
	その他			0				
	一般財源	4,874	13,568	8,694	4,874	4,874		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53260	森林整備地域活動支援事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	森林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課			款	5	農林水産業費		分野	1	産業・労働	実施計画事業	森林整備地域活動支援事業		
		内線	項	3	林業費		基本施策	6	林業	H28実施計画額	60,000 千円		
		2234	目	2	林業振興費		施策	2	森林資源の有効活用				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市と協定を締結している森林所有者、全市民	どうしたいのか(意図)	森林整備の推進のため、森林所有者等による森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	市長との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画を作成することを前提に森林の現況調査、境界の明確化作業、林内作業路網の改良等)を実施したものに、その実行経費が基準上限額のどちらか低い方の額を交付する。 (森林整備地域活動支援交付事業 国・県・市の予算で費用負担)
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	交付金総額 40,192千円(国費 22,484千円・県費 10,979千円、市費 6,729千円) 締結者数 1団体 積算基礎森林面積 1,753.68ha						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	締結者数	団体	目標値	2	5	5	5
成果指標	算出根拠等	市と協定を締結した個人または団体の数	実績(見込)	2	1	2	
	達成率(%)		100	20	40		
算出根拠等	算出根拠等	森林整備計画、年間間伐実施面積指標	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績(見込)		1,109	1,200	1,000		
達成率(%)	算出根拠等		55	60	50		
	算出根拠等						
算出根拠等	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
算出根拠等	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
算出根拠等	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
算出根拠等	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結び付ける。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結び付ける。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	51,665	40,192	60,080	15,080
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	561	439	656	165
	受益者	市と協定を締結している森林所有者、全市民	(B)	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	森林経営計画を作成することを目的に森林情報の収集、合意形成活動、森林調査、境界の確認に対する助成	要求のポイント	森林整備の推進のため、森林所有者等による森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路等の整備	事業実施の課題	平成24年度から森林経営計画を作成しており、現在、林業事業者は、新規計画の作成よりも間伐実施を優先している状況にある +H26豪雪により、林業事業者は倒木処理を優先しており、事業量減が予想される
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	60,080	15,080	△ 45,000	15,080	15,080	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	45,040	11,290	△ 33,750	11,290	11,290		
一般財源	15,040	3,790	△ 11,250	3,790	3,790		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	53300	分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款			5	農林水産業費	分野		1	産業・労働	実施計画事業			
担当課	農政部 林務課	内線	2235	項	3	林業費	基本施策	6	林業	H28実施計画額	10,000 千円		
				目	3	分収造林費		施策	1				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、土地所有者	どうしたいのか(意図)	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐や枝打ち等の施策を実施する。
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	間伐面積 88.87ha							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	分収林間伐等施策実施面積		ha	目標値	21	116	30	39
成果指標	算出根拠等 実施面積			実績(見込)	24	89	19	
				達成率(%)	114	77	63	
成果面	分収林間伐等施策実施面積		ha	目標値	21	116	30	39
	算出根拠等 実施面積			実績(見込)	24	89	19	
				達成率(%)	114	77	63	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
補足				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	旧森林開発公団以外の分収造林地については、新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、分収林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。旧森林開発公団分収造林地については、市管理業務の軽減を図るため、管理手法について検討する必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	旧森林開発公団以外の分収造林について、新たな制度に対応するための管理手法を検討する。また、そのための調査を実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,967	20,826	9,166	17,143
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	97	227	101	189
	受益者	市、土地所有者、市民	(B)	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	公的造林資本の導入による森林資源の計画的な造成	要求のポイント	市が管理する分収林の森林整備	事業実施の課題	計画的な施策の実施及び周辺森林と一体となった管理が必要である
------	-------------------------	---------	----------------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	9,166	17,143	7,977	17,064	17,064	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	9,000	17,079	8,079	17,000	17,000		
	一般財源	166	64	△102	64	64		